

サポートセンター通信

第51号

発行元：松本市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

平成26年度事業のご案内

【 講座 】

★託児ボランティア養成講座 **毎回火曜 10:00-12:00**

受講後は託児ボランティアとして市民団体が開催する子育て支援事業においてご活躍いただきます。

①5月27日「オリエンテーション」 ②6月3日「こどもの心と体の発達と生活について」 ③6月10日「発達障害について」 ④6月17日「事故や病気とその応急措置」 ⑤6月23日～保育実習 ⑥7月8日「子どもの気持ちの受けとめ方」 ⑦7月15日「遊びの実習」

★傾聴ボランティア養成講座

昨年度につづき「プラチナサポーターズ松本」との共催で基礎編を含む実践編を開催します。

★スキルアップ講座

「NPOのいろは」「ファシリテーション講座」などの基礎講座に加え、広報力アップのための「コピーライティング講座」「SNS活用講座」、資金力アップのための「助成金獲得講座」「申請書の書き方ワークショップ」など、実践力を身に付ける講座を企画中です。

【 交流事業 】

★分野別交流会「官民協働の地域づくり」**後期**

10周年に向けて登録団体へのアンケートを実施すると共に、環境、子育て、福祉、観光など、分野別の交流会を開催し連携を考えます。

★ふれあいサロン「障害者の就労を広げよう！」

7月10日 9月27日 12月11日 3月12日 (年4回)

障害者就労支援施設の販売・交流会により施設間の情報共有と事業の活性化を図ります。

★プラチナサロン「私の一步を踏み出し仲間づくり」

毎月第2木曜日 10:00~15:00

プラチナ世代の地域デビューを応援します。

★ヤングサロン「市民活動に学ぼう！」**毎月1回**

若者の社会貢献活動を応援します。

★しみんサロン(随時)

共通のテーマに取り組む団体が課題解決に向けて、意見交換とネットワークづくり。

今年度のテーマは「若者の自立と必要な支援」他



市民活動フェスタ2014「ぼくらの学校」

9月27日-28日 於あがたの森

様々なテーマでまちづくりに取り組む登録団体が、提案し、活動してきたことを伝える学びの場です。子どもからおとなまで広く市民に関心を持っていただけるよう、さまざまな工夫を凝らした展示やワークショップを企画し、昨年は2,000人の来場者が訪れ、楽しみながら市民活動を学んでいただきました。今年度、出展希望団体は、5月30日開催の説明会&実行委員会発足式にご出席ください。

第1回実行委員会：5月30日(水) 19:00~

以降実行委員会は、6月25日、7月23日、8月20日、9月17日に開催予定です。

出展団体募集!

2次募集

平成26年度「地域発 元気づくり支援金」

◆受付期間：平成26年5月16日(金)~6月13日(金)

平日 9:00~17:00

◆受付場所：市民活動サポートセンター



新サービススタート!

新年度からサポセンがさらに便利になります

● 登録団体専用無線LANを設置

会議や講座に、無料でご活用いただけます。

利用を希望する場合は、窓口に申請をお願いします。



● 団体専用ロッカー(有料)を設置

空あり!年度途中からでも月割りでご利用いただけます。

● 情報コーナーが新しくなりました

団体リーフレット、会報、イベントチラシ等を集めた情報コーナーを拡張。皆様からの情報をお待ちしています!

新しくなった情報コーナー。サポートセンターへお越しの際はぜひお立ち寄りください。

(→)



ヤングサロン「社会を変える。いつやるの？」を開催しました！

市民活動サポートセンターでは、社会貢献をしたい志を持った若者や、社会貢献意識を育む「ヤングサロン」を4月からスタートしました。そのキックオフイベントとして、3月15日（日）に講演会&ワークショップを開催し、10代～20代の若者15名が参加しました。

講演会では若者に人気のあるラジオパーソナリティの松山三四六氏を講師にお招きし、「今が輝かないのなら未来なんかいない」と題して若者とのトークを交えながら、座談会形式の和やかな雰囲気となりました。「働く」の意味は「傍を楽にすること」。人の行動には、賃金をもらいたいという外的モチベーションと、誰かを楽にしたいと思う内的モチベーションがあり、内的モチベーションを持ち自主的に動くことで、人を楽にし、社会がよくなるとお話ししてくださいました。

ワークショップでは、三四六氏の講演を聴いて感じたことを参加者で意見交換しました。「何かやりたいと漠然と思っていたが、頭の中が整理されてチャレンジしたいことも明確になった」「働く意味について考えるきっかけになった」など、気付きを得たという声が多数ありました。実際にしてみたい社会貢献についての意見交換も活発になされ、「松本のためになる仕事をしていきたい」「チャレンジできる環境をつくりたい」などの思いが共有されていました。また「若者同士で交流する場がほしい」「相談する場がほしい」といった意見も出され、ヤングサロンが今後、若者が集い交流する場として大きな役割を担っていくことが期待されます。ヤングサロンは実行委員会を立ち上げ、月1回フリーに意見交換する若者による交流の場（しゃべり場）づくりや、サポートセンターの登録団体代表者に市民活動について学ぶ学習会（市民活動学習会）等も開催していく予定です。



(↑)三四六氏の講演の様子



(←)ワークショップの様子

支える人たち

～シルバーカフェ沢村店 店長 貞松 妙子さん～

シルバーカフェ沢村店
長野県松本市沢村 3-1-8
Tel:0263-87-7816

シルバー世代の地域での交流の場、身近な相談所として設立されたシルバーカフェ。今年4月から沢村店の店長として活躍する貞松妙子さんにお話を伺いました。

—アットホームな雰囲気がいいですね。

会員の方がサツマイモを持ってきてくれたり、今度ここで草もちを作ろうという話も出たりと、来てくださる方のアイデアで利用していただいています。

—店長になられた経緯を教えてください。

2012年10月に松本政経塾さんの立ち上げでシルバーカフェが設立され、私は有償ボランティアとして働き始めました。ここを必要としてくださる方は多く、これからも今まで通りのスタッフで皆さまをお迎えしたい、という思いで今春から店長を引き受けました。

—要介護者へのサービスに比べ、元気な高齢者が気軽に交流したり楽しく過ごせる場というのはまだ少ないですね。

一人暮らしの高齢者や、ご家族と一緒に住んでいても昼間は家でひとりになってしまうという方は今とても多いですね。ご近所との結びつきも薄れていく中、交流の場を求めているも介護認定がないと施設も利用できない。老老介護で家にこもりっきりになってしまい疲れを発散できずにいる方もいます。他方では、奥

様に「少しは外に出かけたら」と家を追い出されてここに来られる方も（笑）状況は人によってさまざまですが、ひとことふたこと言葉を交わすだけでも気持ちが明るく元気になるし、物忘れ予防など身体の健康にもつながるんです。

—これからどのような場所にしていきたいですか。

目標は、「歌う」「笑う」「しゃべる」、そして女性は「食べる」のと（笑）定期的に勉強会や歌声カフェなどを行っています。イベントがなくてもふらっと立ち寄っていただける場所づくりを目指しています。シルバー世代はもちろん、若い世代もくつろげるスペースにしたいですね。プラチナサポーターズ（サポートセンタープラチナ世代支援組織）の協力で、定期的に出張講師をしていただく事業も進めています。皆さんが楽しく元気に過ごせるお手伝いができればと思っています。（インタビューア：なかがわ）



Close Up!

上高地線応援隊

Tel : 090-3800-1285 (山口)

URL : <http://www.matsuzawa.com/engawa>

地域の縁側づくり、活性化を目的とし、公共交通を考えようと平成18年12月24日に「古い電車で新しい語らいの会」を結成。平成26年5月1日に、当初の方向性に加え、存続の危機にある上高地線も盛り上げようと会の名称を「上高地線応援隊」に改名した。現在は上高地線の存続に向けての活動、沿線地域の活性化を目指し活動している。

隊員は約20名。新村駅構内留置線に保存されている現役を退いた古い電車(5000形電車)を拠点に、松本大学の学生や地域住民、松本電鉄職員など、老若男女問わずさまざまな立場の人たちが、自由な発想で趣味や特技などを活かし活動している。

オリジナルグッズの企画・開発も独自に行っており、上高地線の駅などで販売されている。収益は会の活動費に充てられるほか、一部は上高地線の整備などに役立てられている。また、世代を超えた交流の場として10種類以上のイベントが企画されており、その中でも「上高地線ふるさと鉄道まつり」は毎年3月21日(日本最古の木造電車ハニフ1号の記念日)に開催される一大イベ

ントで、大勢の家族連れや鉄道ファンらが訪れ賑わう。平成26年度の鉄道まつりは、グッズ販売や恒例の梓川十八太鼓の演奏、お餅の振舞いなどで活気に溢れ、来場者は600名に上った。



電車内での定例会の様子(↑)

定例会は月に2回(主に第1・3土曜日)、拠点である5000形電車の車両内で行われている。また地域の縁側づくりとして、会議中でも鉄道ファンや親子、お年寄りなどの地域住民が集える交流の場となっている。車内にはプラレール等子供たちが遊ぶ工夫も設けられている。

鉄道ファンを魅了する外観、内装をはじめ、旧電車の醸し出す独特の雰囲気は特別な一時を演出する。また、季節に応じて装飾も施され、その時々で一味違う5000形電車を味わえる。「活動のPRにさらに力を入れ、地域のお宝でもある5000形電車の魅力をもっと多くの方に知ってもらいたい。上高地線はよく知らないという方にも気軽に立ち寄っていただければ」と代表の山口さん。会自体も地域住民や子供、お年寄りの寄り処となるよう活動していきたいと意気込みを話した。(うみぐち)

NPO法人長野県みらい基金

Tel&Fax : 0263-50-5535 (松本事務所)

URL : <http://www.mirai-kikin.or.jp/>

連なる公共的活動の中から自分が応援する活動を選び寄付するWebサイト「長野県みらいベース」の運用が始まって一年、サイトを運営する「NPO法人長野県みらい基金」が、この4月、全県的に活動を展開するため長野市に続き松本市にもその拠点を開設した。事務所は松本合同庁舎内に置く。個人及び企業からの寄付を募り登録する団体に助成する仕組みで、その仲立ちとなって非営利団体を支援する。

2010年から2012年にかけて新しい公共支援事業として多くの市民ファンドが全国に創設され、長野県みらい基金もそんな動きの中で誕生した。自立的財源が脆弱な

非営利活動を支援するのがねらいだ。寄付募集の制度及び仕組みについては長野県が設置し、財界人やNPO関係

者から構成される制度検討会議(2012年)において検討されてきた。全県にまたがる運営組織が立ち上がり2013年に法人化された。理事長の増田綾子さんは飯田市出身でNPO法人くらりnetの事務局長でもある。

2013年度末の時点で、サイトに登録する団体は49団体。集まったお金は127件、総額4,817,260円。昨年はその助成を受けて14件の事業が実施された。制度はスタートラインに立ったところ。寄付という形で一人ひとりの市民が公益活動に関わる機会は提供された。公益活動の促進と市民社会の実現に向けて増田理事長は「今後、企業や法人の寄付に対する意識改革も進めていきたい」と抱負を語った。

寄付プログラムには、事業指定、団体指定、地区・分野指定など様々な形があり、企業との協力による寄付つき商品の開発、いわゆる冠寄付も模索している。そのひとつ、信州ゆかりの楽曲を収録したCD「信州宝歌」や「信濃の国」の発売も始めた。売り上げの一部が長野県とみらい基金に寄付される。

基金の創設により、社会貢献意識が醸成され、寄付文化が広がることが期待される。寄付者も幸せと満足を得ることがあたりまえになる社会の実現が待ち遠しい。(くり)



みらいベースHP(↑)

INFORMATION : お申込・お問合せは各団体に直接お願い致します。

イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、市民活動のイベント情報や募集情報などをご紹介します。



脱原発学習会～講演と質疑討論 “原発のコストと浜岡原発の今？”

静岡県湖西市市長 三上 元さん（脱原発をめざす首長会議世話人）を講師に迎え講演会を開催します。

- ◆日 時：5月25日（日）13:30～16:00（開場 13:00）
- ◆会 場：松本市市民活動サポートセンター
- ◆参加費：500円
- ◆問合せ：「サラバ原発・変えよう暮らし方」の会
TEL:0263-33-8154（西村）

水辺のマルシェ -花と音楽-

地元作家のクラフト作品、農産物、加工食品などの販売のほか、なわて通りのお店から水辺のマルシェ限定モーニング（500円）もご用意。弾き語りなどのパフォーマンスもあります。



- ◆日 時：5月25日（日）9:00～16:00
- ◆会 場：なわて通り女鳥羽川水辺幸橋周辺
- ◆問合せ：水辺プロジェクト@なわて通り
080-3162-7509（小笠原）

「びよびよげきじょう」おためし会

松本子ども劇場が主催する育児サークルです。年間を通していろいろな遊びを体験できます。今回は参加しやすいおためし会です。

- ◆日 時：5月28日（水）10:30～12:00
- ◆会 場：あがたの森 記念館前（雨天1-2）
- ◆参加費：100円（おやつ・工作材料費）
- ◆申込み：松本子ども劇場
TEL:0263-33-3423 FAX:0263-33-0048
E-mail:piyopiyo@matsumoto-kogeki.com



生涯学習推進講座 学校と地域の連携

地域の皆さんが学校支援ボランティアとして活動することの意義と可能性、学校で活動する上で知っておきたい事柄を学びます。

- ◆日 時：5月30日（金）9:40～16:00
- ◆会 場：長野県生涯学習推進センター
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：長野県生涯学習推進センター
TEL:0263-53-8822 FAX:0263-53-8825
E-mail:shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp



第5回こいこい松本2014～松本国際ふるさと祭り～

国際交流を楽しみつつ、外国の人や様々な立場の人と一緒に生きていく「多文化共生」の考え方がわかるようになるお祭りです。

- ◆日 時：6月22日（日）11:00～17:00
- ◆会 場：M ウィング
- ◆参加費：無料
- ◆URL：<http://www.facebook.com/KoikoiMatsumoto>
- ◆問合せ：第5回こいこい松本 実行委員会
E-mail:stomo@shinshu-u.ac.jp（佐藤）



犯罪被害者支援 ボランティア養成講座

犯罪被害に遭われた人たちが置かれている実態、支援策、カウンセリングや法律に関する基礎知識を習得します。

- ◆日 時：6月～8月の各月第2・第4木曜日
- ◆会 場：トライあい・松本
- ◆申込み：5月30日までに申込書を記入の上認定認定 NPO 法人長野犯罪被害者支援センター（〒380-8570 長野市南長野幅下692-2）へ。6月上旬面接後、受講の可否を通知。TEL:026-233-7848



パソコン定期講座 TAMAGO(たまご)受講生募集

パソコンの勉強を定期的に続けたい方、基礎コースでパソコンを基礎から学んでみませんか？

- ◆日 時：月2回木曜日 10:00～12:00
- ◆会 場：塩尻情報プラザ
- ◆参加費：月2,200円（別途テキスト代）
- ◆申込み：NPO 法人グループ HIYOKO
E-mail:hiyoko@ghiyoko.net
TEL/FAX:0263-54-7226（9:30～16:00）



編集後記

サポートセンター通信に関わらせていただくようになって2年余りが経ちました。通信の作成を通して皆さまの活動を知り、また理解を深めることで市民活動について考えるきっかけにもなりました。これまでの経験を皆さまに還元できるよう取り組んでまいりますので、これからも活動を発信するツールとして、通信を活用していただければと思います。（なかがわ）